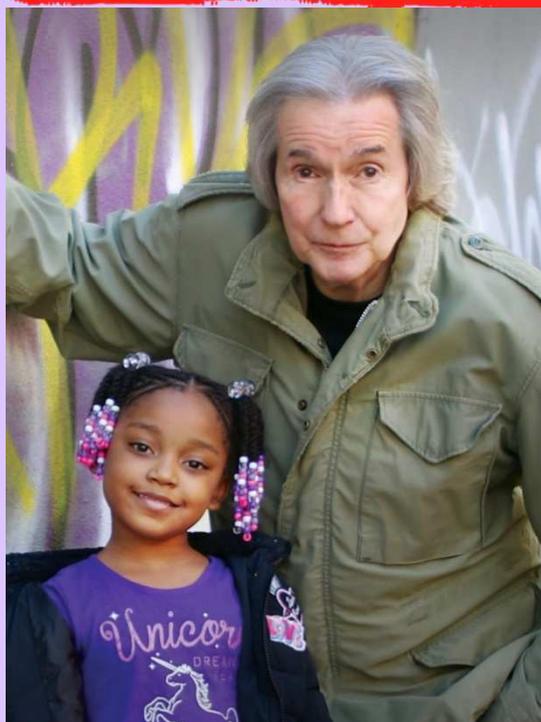


いよいよツアーが始まります！

各会場で、皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



今年も、日本でのセミナーが開催できることを感謝しています。大阪、名古屋、東京で多くの皆様とお目にかかれることを期待しています。

皆様にお伝えしたいことがたくさんあります。皆様のご支援がどれほど素晴らしいことを実現しているか、現場からの生きた証しを携えて行きます。そして、次々と開かれていく新しい働きについても。

道ばたに捨てられた、ただのみすぼらしい少年だった私を、ここまで導いてくださった主と、多くの皆様のご支援に支えられ、この働きを担わせていただいていることに感謝しています。ご支援のおかげで、新しいチャンスが次々と与えられ、働き場は世界中に広がっています。

想像を絶する悲惨な状況に置かれている数多くの子どもたちを一人でも救うための働きは、困難の連続です。しかし、それに勝る主の恵みと喜びをあなたにもお伝えしたいのです。

同じ主が、あなたにも働いておられます！ きっとこのメッセージは、あなたの人生に大きな転機をもたらすでしょう。お聞き逃しのないように！

—ビル・ウィルソンより

アメリカのブックバッグ(学用品)プレゼント受付中！

8月末から9月に始まるアメリカの新年度に合わせて、学用品の詰まった新品のバッグをプレゼントします！ きっと楽しく期待して新年度からの勉強ができます。

勉強をしてちゃんとした職に就くことができれば、彼らの将来は親たちの人生とは違ったものになります。子どもたちの将来に投資するという気持ちを持ってご支援ください。

詳細は、同封のお申込用紙をご覧の上、7月10日の締め切りまでにお申し込みをお願いいたします。ご自分のお子以外にも贈ることができます。

*日本のランドセルと違い、海外のバッグは品質が悪く、1年で壊れたり破れたりしてしまうことがほとんどです。また、中に入っている文房具などは消耗品ですので、毎年必要になります。



ブックバッグ受け付け中！

※切7月10日。同封の申込書をご覧ください！

インターンシップ受付中！

メトロの現地で研修できるチャンスです。

詳細は5ページをご覧ください

今月号の目次

P2…ケニアツアーのご案内／ビル師デホーション講座

P3～5…フィリピンツアーご感想

P5…インターンシップのご案内

P6…重要なお知らせ／日本事務所連絡先など基本情報

初のケニアツアー開催決定！

日本から初となる、ケニアの現地ツアーを開催します。
詳細につきましては、参加人数などによって変わってきますので、ご希望の方は、お早めにご意向をお知らせください。

アフリカまで行く機会はなかなかありませんので、現地の方からも観光を予定に入れることをすすめています。そのため日程がほかのツアーより長めになりますが、少々無理をしてもぜひご参加をご検討ください。

メトロ・ケニアの活動拠点は、有名な国立公園にも近く、私たちの計画に合わせて様々な観光スポットがあるそうですので、ご期待ください。

しかし、メインはスラム街の子どもを対象としたメトロの活動の見学、子どもとの面会ですので、単なる観光旅行ではないことをご理解ください。



日程：2019年9月19日(木)夜間～28日(土)夕刻(予定)

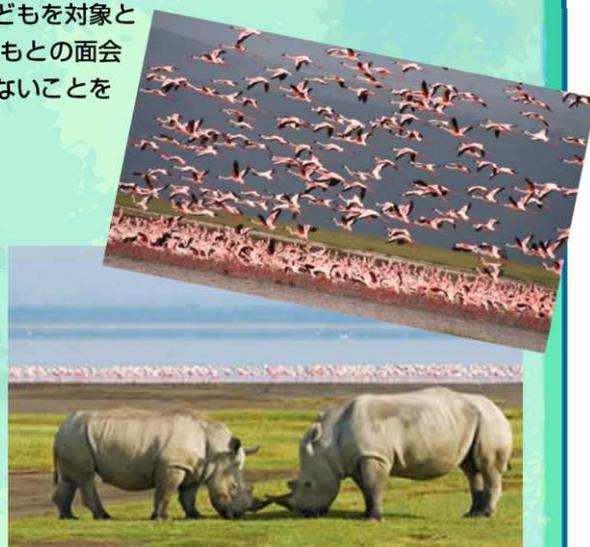
発着地：関東地方

金額：現地への献金を含め 30万円程度

内容：現地の教会学校を見学、スタッフの活動に同行、子どもとの面会、観光、メトロ事務所でのご奉仕など

締め切り：8月14日(水)

催行人数：4名～16名



2019年6月 今月のデポーション by ビル・ウィルソン

現実とは現実 解決は心構え次第

殴られた傷がまだ癒えないまま衰弱していたにもかかわらず、家庭裁判所の判断で、その女の子は虐待を続けてきた両親のもとに戻された。両親は喜んで娘を迎えたものの、虐待の日々は変わらなかった。母親が女の子を床に押さえつけ…そして父親が…

まもなく、女の子は、死んだ。

この町では、神の臨在を探し求めずにはいられないことが時々あります。もちろん、神は常にそこにおられます。しかし、この町の実情が一この町に限らず世界中で！—その臨在を見えなくしてしまうことがあるのです。まるで伝染病が広がるように、いろいろなことが起こり、数えきれないほどの問題が起こります。あらゆることが目まぐるしく変化し、事態は一夜にして制御不能となり、そして手遅れになる…

私の人生はこの町のようなのです。様々な問題が非常な速度で押し寄せ、手がつけられなくなる。その前兆が見えてくると、私は思うのです。「この事態は自分には重すぎるのではないか？」この感覚、お分かりになるでしょうか。

ここで一つのことをお伝えしましょう。あなたには選択権があるのです！いつでも、選ぶのはあなた自身なのです。まるで路上強盗のように、今、問題があなたの様子を窺っています。ここで諦めれば、その問題によってあなたは丸一日か一か月、さらには年単位で自分の時間を無駄にすることになります。すべてを差し出して、二度と取り戻せなくなるのです。しかし、まったく違う心構えをもって対処する道を選ぶこともできます。勝利につながる道を。

あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。

—ピリピ人への手紙2章5節

現実だけを見ていたら、勝利のために必要な解決策は見つけられないでしょう。確実な解決策を見出したければ、まずは心構えを整えることです。前向きで、健全で、神の臨在を顕すことのできる心構えから始めることです。

神は隠された存在でもなく、神ご自身があなたから身を隠しているわけでもありません。あなたの心構えの基盤となることを望んでおられます。今後を見据え、大胆な選択をしてください。今日も明日も神の側に立つことです。目の前の現実を翻弄されてはなりません。

心を込めて

創立者・主任牧師 ビル・ウィルソン

フィリピン視察ツアーのご感想

今年の春開催しましたメトロ・フィリピンの現地視察ツアーにご参加くださった方々のご感想をお届けします。

飯田結樹様

ハレルヤ！主の御名を賛美いたします。札幌キリスト福音館牧師の飯田結樹と申します。4月4日(木)～7日(日)の期間で、フィリピン視察ツアーに夫婦で参加してきました。

1. きっかけ

去年の夏、札幌で開催されたビル・ウィルソン先生のセミナーで、2人の子供のサポーターになったことがきっかけでした。それまで、一年以上、夫婦で里子サポートができる団体を祈りつつ探していましたが、メトロの「福音を必ず伝える」という方針に共感できたので、サポートを決めました。ビル先生のメッセージを聞く中で、恵まれた日本から少し外へ目を向けると、多くの子供たちが悲惨な環境で今日も生きていることを知り、涙が止まりませんでした。

その中でも、メトロは、「どんな環境にいてもイエス様に出会うならば、必ずその子の人生が変わる！」という熱いビジョンを持っており、「1人でも多くの子供が福音を聞くことができるように、日本に住んでいる私にもできることがある！」という熱い思いが主から与えられ、さらに涙が止まらなくなりました。1回目のセミナーの後の休憩時間で、フィリピンの女の子のサポーターになることを決め、最後のセミナーの後でケニアの女の子のサポーターになりました。

私たち夫婦は、結婚して7年になりますが、未だ子供ができず、このように可愛い里子ができたと、とても嬉しいです。



2. 不思議なきっかけでツアーに行けた！

サポートを決めたとき、万代先生から、フィリピン視察ツアーがあることを聞いていました。また、女の子の写真を見る度に、「実際に会いに行きたい！」と思っていましたが、まさかこんなに早くその夢が叶うとは思ってはいませんでした。不思議な形で休みとツアー代金が与えられたことで、行くことができました。

私たち夫婦は、今回のツアーに2つのことを期待していま

した。1つ目は、里子に実際に会うこと。2つ目は、フィリピンでどのように福音が伝えられているかを実際に見ること。そして、この2つのことを通して、神様が私の心に熱いリバイバルの炎を灯してくださる期待を持って祈り備えていました。

3. スーパーでの爆買い。

ツアー二日目に、念願の里子に会うことができました。写真より、だいぶ大きくなっていて最初は誰かわかりませんでしたが（笑）、おめかしをしていて、とても可愛かったです。日本からのプレゼントを渡し、彼女と家族のために祈らせてもらいました。

祈りの中で、「この子が、家族と地域の祝福の器になるように」という熱い思いがこみ上げてきました。そして、「地域だけではなく、この国の祝福のために用いられるように！」と祈りが広がっていきました。

このように主が祈りを導かれたことを通して、チャイルドスポンサーは、ただ金銭的にサポートをしているのではないことを実感しました。この子たちが将来、大きな実を結び、同胞と神の国のために用いられることを、私たちが祈ることができること自体が、主の偉大なご計画であることを知りました。

祈った後は、家族を連れて、大きなショッピングモールに行き、フィリピンの子供が大好きなジョリビーというファストフード店でランチ。

その後、現地スタッフからの提案で、食料品売り場で、予算を決めて、好きなものを買ってもらおうということになりました。そのスタッフから聞いたところ、里子のほとんどは人生で一度もショッピングモールに入ったこともなく、スーパーで買い物ができるなんて夢のような体験らしいです。中には、食料品売り場であまりの感激に泣き崩れるお母さんもいたのだとか。

私たちの里子も、今までの緊張が嘘のように、飛び跳ねながら、シャンプーやお菓子をカゴにポンポン入れていきました。「それ必要ないでしょ！」というものを入れて、お母さんに戻されるというシーンですら、心がとても和みました。お母さんが欲しいものは極力買わず、その子が欲しいものを買ってあげることを優先しておられたことにも、感動しました。



「日本から来たサポーターが買ってあげてるんだぞ」という変な感じは全くなく、むしろ、とても喜んでくれたので、今までの人生の中で一番幸せなお金の使い方に感じました。

その後、女の子がエレベーターに乗りたい！と言ったので、何度か乗って遊びました。実は、女の子は、モールでエレベーターに乗れることを楽しみにしていたようです。



4. スラムでのショック。

三日目は、早朝から線路沿いにあるスラムに行って、日曜学校プログラムがどのように行われているかを見てきました。到着してすぐに、「サイドウォーク・サンデースクール！（道端日曜学校）」と叫びながら、スラムの家々が立ち並ぶ通路に入っていました。早朝にもかかわらず、みんな起きていて、挨拶には必ず笑顔で返してくれたのが印象的でした。

日曜学校の時間が始まると、敷かれたブルーシートには子供たちがびっちり。スタッフのハンナさんと、フィリピン人のユーススタッフが慣れた感じで、子供たちを盛り上げます。中高生が、入れ替わり立ち代わりで、MCして、現地の子供たちを飽きさせない姿には、ただただ度肝を抜かれました。「このように恥ずかしがらずにできる中高生が日本にはいるだろうか…」

メトロの日曜学校プログラムは、子供たちが飽きないように、騒がないように、そして福音をしっかり聞いて応答できるようにと、とても考え抜かれていました。

その後、以前、スモーキーマウンテンと呼ばれていた、別のスラムに行きました。スモーキーマウンテンは、1980年代後半頃から、フィリピンの貧困の象徴として扱われる有名なスラムでしたが、現在は政府が公共住宅を建てて、住民を強制退去させました。

朝と同じように、「サイドウォーク・サンデースクール！」と立ち並ぶ公共住宅の一階から最上階まで、上り下りします。そこは、以前のようなゴミ山ではないものの、鼻に突き刺さる悪臭と、こっちを見つめる子供たち。洗濯物がびっちり干されている通路を通り抜けながら、時折見える家の中に横たわる人々など、このツアーでなければ入れない場所に来ていることを実感。

日曜学校には200人以上の子供たちが、ゲームをし、賛美をし、メッセージを聞いて祈る姿を見ることができました。ここに来ている子供たちはみな元気そうですが、おそらく私たちが知るすべもなく、病气やけがで死んでいる子供たちがたくさんいるのだらうと思うと、心が痛くなりました。

5. 考えさせられたこと

①どのようにサポートするべきか

一日目のオリエンテーションで万代栄嗣先生が、ある日本のビジネスマンがアジアに孤児院を作り支援しているという話をされました。とても素晴らしいことではありますが、多くのお金を費やし、立派な孤児院を作っているとのことでした。その孤児院かはわかりませんが、多くの場合、たくさんのお金を送ると、送られた方は悪い意味で「受けること」に慣れて、働くことに意欲を感じないケースもあるそうです。

また、間でお金が抜かれる可能性も少なくありません。お金を送金するのが、必ずしも現地の子供達のサポートに繋がっているわけではないことを考える良い機会になりました。

メトロは、支援を通して、クリスチャンになって、ちゃんとお金を稼いで欲しいという願いを持って、支援をしているそうです。

②福音中心

オリエンテーションの中で、伝道と人道支援の両立の難しさの話も聞きました。ある団体は大きくなり、国から支援をもらうようになりましたが、それゆえ福音を語ることに制約をかけられるようになったそうです。人道支援団体として公になればなるほど、いわゆる「宗教的」な活動が制限される場合が多いのです。

メトロは、日曜学校が活動の中心です。福音を毎回語り、悔い改めを祈る。ここだけは絶対に譲れないものとして、スタッフが生き生きと働いている姿を見ました。

それぞれの団体に特徴があって良いと思いますが、私自身、「福音」を語ることを妥協しないメトロの活動は尊い働きだと思いました。

③現地の子供を育てるチームワーク

私たちは、現地スタッフのハンナさんの日曜学校チームに一日同行しました。ハンナさんのチームは、現地で救われた中高生が中心です。彼らはスラムで救われ、今もスラムに住んでいる人がほとんどだそうです。環境も年齢も近い彼らだからこそ、福音がストレートに伝わるのです。しかも、彼らはよく訓練されていました。

彼らがここまで育ったのは、ハンナさんのリーダーシップと福音の情熱、彼らに対する期待と愛情があったからだと言った活動を見るだけでわかりました。ハンナさんは、彼らと一緒に働き、一緒に食べて、一緒に遊んでいました。時に優しく、時に厳しく接していました。そして、プログラムが始まると、自らが率先して模範を示していました。中高生の現地スタッフが活躍する姿を見て、「任せるとは何か」を考えさせられました。

何も教えないで「やってみて」では難しい。教えすぎたり、干渉しすぎるのもつまらない。やはり、自らが模範になりつつ、一緒にやりながら徐々に任せていくリーダーの存在が大きいなと思いました。



6.おわりに

今回のツアーを通して、神様の偉大さと、福音の力を実感した一方で、神様が召された「私たち」の重要性を考えさせられました。フィリピンの劣悪な環境で生活している子供たちに対し、神様は決して沈黙されておられない。むしろ、神様はメトロを通して、福音を届けておられました。しかし、そこには一生懸命働いている神様のしもべたちがいました。

99%以上がイエス様を信じていない日本の現実を考える上で、何が重要なのだろうか。それは、小手先のテクニックや

方法論を超えた、私たちの「本気度」じゃないだろうか、と。歯を食いしばって自分の力だけで頑張るといふ本気度ではなく、聖霊に満たされ、福音の力から溢れてくる「本気度」。福音に「本気で」信頼する人。人々を「本気で」愛する人。

ツアー中、ハンナさんが語った一言一言が忘れられません。「子供たちのライバルはインターネット。私たちは面白いものと戦わなければならない。」ハンナさんはルカの福音書 19章 10節を開いて続けます。「人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。」「イエスさまが探した。人がやって来るのではない。ライバルがインターネットやテレビなら、本気で戦う。本気でなければ、2万人は来ていない。頑張つて、工夫して、人が来る。」

メトロは、「消防車」や「ドラえもん」、「プールパーティ」など、子供たちを飽きさせないテーマを毎週打ち出します。

ハンナさんは、「時間もお金もかかるが、子供が1人でも増えればと思ってやっています。」と、最後にルカの福音書 15章 10節を開かれました。「あなたがたに言います。それと同じように、一人の罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちの前には喜びがあるのです。」

何より、神様が一番、失われた魂に対して本気なのだ。その神様の心といつも一つとなって歩んでいきたい。そう思われました。これからもメトロの働きのために祈り、サポートしていきたいと思えます。



●マニラ(フィリピン)

期間: 2019年8月25日(日)~12月17日(火)

費用: 登録費15,000円+食費および小遣い(研修費は無料)

その他: 日常会話程度の英会話力が必要です。

どちらも4ヶ月間のプログラムで、研修施設での共同生活になります。

すでに教会で奉仕をしている熱心なクリスチャンや献身者にお勧めします。また、日本からの研修者には、英語の語学力その他の確認が必要です、必ず事前に万代牧師の面接をお受けください。

ご興味をお持ちの方には、資料とお申込書をお送りしますので、すぐに日本事務所にご請求ください。

TEL: 03-3561-0174 FAX: 089-925-1501
メール: metrojapan@mission.or.jp

必ずご返信しますので、返事がない場合はお問い合わせください。

インターンシップ(研修制度)ご案内

2019年度秋期のインターンシップの期間は以下の通りです。

●ニューヨーク(アメリカ)

期間: 2019年8月13日(火)~12月19日(木)

費用: 登録費15,000円+宿泊と食費込みで2,500ドル+小遣い

その他: 英語でのコミュニケーションが必要です。



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

日本セミナー開催！

ビル・ウィルソン師が6月28日から7月7日の日程で来日予定です。

大阪・名古屋・東京でのセミナー開催が決まりました。ビル師も皆様にお会いできることを大変楽しみにしておりますし、様々なご報告と共に熱いメッセージを語ってくれます。

ご自分の今後の歩みに、組織や教会の活性化のために必ず役立つメッセージです。お仕事や様々な予定を調整してでも参加する価値のあるセミナーですので、ぜひ前向きに予定を調整してご参加ください。

また、当日の会場準備や動員でご奉仕いただける方は、すぐにご連絡ください。

！ スポンサー代金改定

メトロ本部では、世界中の物価の上昇に対応するために、子どものスポンサー代金を今年から変更しました。

日本事務所でも、スポンサーの方々には、3月のレポートにビル・ウィルソン師からの手紙で変更のご依頼をお知らせしました。たくさんの皆様が、スポンサー代金の引き上げをご了承くださいましたことを心から感謝申し上げます。

もし、まだ手紙をご覧いただいていらっしゃらない場合は、ぜひ3月号に同封のビル先生からの手紙をご一読いただき、大変お手数ですが、日本事務所までご意向をお知らせくださいますようお願い申し上げます。

ケニアツアー開催！

念願のケニアツアーを開催します！

通常の海外旅行では、絶対に行くことのできない場所を訪問しますし、サポートしてくださっている子どもさんに会うチャンスです。

日程や金額は、フィリピンやアメリカよりご負担が大きくなりますが、せっかくのチャンスですので、お仕事などを調整してご参加いただければと願います。

現地のスタッフも、初めて日本のスポンサーを迎えられることを大変楽しみにしています。

今まで開催してきたツアーも参加者にご満足いただいていますので、今回も必ずご満足いただけると信じています。ぜひご期待ください。

日本事務所よりごあいさつ！

今月も、日本事務所のメトロ・レポートをお届けできますことを感謝しております。

いよいよ今月末からセミナーの開催となりました。ビル師も私も皆様とお会いできることを楽しみにしています。各セミナーでは、私が精一杯同時通訳をさせていただきます。今回も、心燃やされる熱いメッセージを語ってくださいますので、ぜひご期待ください。

また、ようやくケニアツアーの開催を実現できることとなりました。日程調整のために現地と連絡を取り合っておりましたが、現地スタッフは、初めて日本の方が来てくださるということで大喜びで、魅力的な観光の計画も立てられています。ぜひ前向きにご検討ください。

皆様のご支援とお祈りに心から感謝し、祝福をお祈りします。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1
教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン